

はろー！ ぼらんていあ

Harobora

2015年 2016年

12・1月

合併号

NO.203

配布・GM・GL以上（グループ・組内回覧）
人事部配布承認済

★ トヨタボランティアセンター機関誌 ★

劇団
四季

こころの劇場

豊橋公演

運営サポート

2015年9月28日(月)～30日(水)
穂の国とよはし芸術劇場PLAT



受付

未来を担う子どもたちの心に演劇の感動を届けようと、劇団四季と（一財）舞台芸術センター、そして全国の企業・団体が力を合わせ、日本全国の子どもたちを無料で劇場にご招待するプロジェクト「こころの劇場」。トヨタ自動車（株）はこの活動に賛同し、年間を通じて協賛しています。

今回初めて従業員17名が受付や舞台の解体作業などの運営サポートボランティアとして参加しました。来場した豊橋市・豊川市の小学6年生56校4,033名の児童のキラキラした笑顔にボランティアも笑顔になる素敵な活動となりました。



誘導サポート



翌日公演のチラシを準備



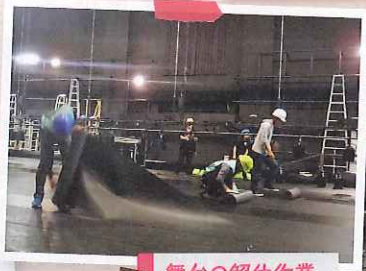
出演者によるお見送り

以前から興味があったボランティア活動に今回初めて参加させていただきました。

会場内の案内、誘導を担当する中で、劇団や舞台裏のスタッフそれぞれが舞台の世界観を大切に、細やかな心遣いをされていたのが強く印象に残っています。観劇後の生き生きとした子どもたちの笑顔にこちらまで自然と笑顔になりました。素敵な活動に参加できたことに感謝しております。



技術管理部
森本 萌子さん



舞台の解体作業



CONTENTS



トヨタボランティアセンターの
シンボルマークです

劇団四季 こころの劇場 豊橋公演 運営サポート…………… 1

2015年後期 被災地復興支援ボランティア活動…………… 2

2015年第2回スペシャルオリンピックス日本
東海・北信越ブロック 夏季ブロック大会 in 愛知…………… 3

10月入社事務系大卒新入社員研修
豊田市立平和小学校 ボランティア…………… 4

ALL TOYOTA Big Holiday
“きてみて体験”ボランティアプラザ…………… 4

名古屋フィルハーモニー交響楽団主催
「夢いっぱいの特等席」福祉コンサート
名古屋公演 ボランティア…………… 5

トヨタローコンサート 20周年特別企画
トヨタ・ミュージアム・コンサート ボランティア…………… 5

トヨタ白川郷自然学校 茅刈りボランティア…………… 6

ホルト祭り ものづくりボランティア…………… 6

幹の会 白山白川郷ホワイトロード
外来植物の除去ボランティア…………… 7

第5回豊田市スポーツデー ラグビー体験サポート…………… 7

社内団体のボランティア活動…………… 8

工場事業所窓口のボランティア活動…………… 9

全社収集ボランティアキャンペーン実施中!…………… 10

2015年後期

被災地復興支援

ボランティア活動

2015年10月～11月岩手県気仙地区
(大船渡市、陸前高田市、住田町)

トヨタグループ・関係会社16社約30名のボランティアが参加し、「人と人との交流」「観光・産業支援」を目的に、地元の方とのふれあいを大切にしながら活動を実施しました。今年度は前期と合わせ全6クール総勢約150名が、そして2011年6月の活動開始からは累計43回、約800名の従業員のみなさんにご参加いただきました。来年3月11日で震災からちょうど5年ですが、復興はまだ道半ばです。「活動の継続がうれしい」。そんな被災地の方々への心によりそい、今後も応援を続けたいと思います。

第5クール

2015年10月16日(金)～19日(月) 大船渡市、陸前高田市、住田町

ボランティア8名が大船渡市で開催された「大船渡復興東北三大祭り」「民俗芸能大祭」や、恋し浜漁港での「ホタテ養殖」などを地元の方々と交流を図りながらお手伝いしました。トヨタ自動車東日本(株)のボランティア10名も大船渡産業まつりをお手伝いし、復興を願う気持ちを込めて一生懸命お祭りを盛り上げました。

ホタテ養殖のお手伝い



民俗芸能大祭 地元のお酒を来場者に振る舞います



大船渡復興東北三大祭り 会場設営



演舞団体のアテンド



地元の方々と

活動を通じ、たくさんの人との『出会い』があり、人が持つ『温かさ』や『優しさ』に気づける、すばらしい経験ができました。被災地はまだまだ復興途中であることを知りました。今後は小さなことでも自分たちにできる支援を継続して行っていきます。

HVユニット開発部
北潟 隼人さん(写真右)



第6クール

2015年10月30日(金)～11月2日(月) 陸前高田市、住田町

ボランティア8名が岩手県住田町にて、仮設住宅の方とのそば削りや交流を、すみた産業まつりではトヨタブース運営および地元ブースのお手伝いを行い、積極的に地元の方と交流を図りました。

また陸前高田市では、トヨタ自動車東日本(株)のボランティア9名も加わり、被災した田圃をりんご農園として再生した「林の下農園」にて、地域ブランドとして有名な「米崎りんご」の葉取り作業や、つる回し(太陽の光が均等に当たるように向きを変える作業)などを行いました。

そば削りのお手伝い



りんごのつる回し



中上仮設住宅団地の
方々と昼食交流会



りんご農家の
菊池さん夫妻を囲んで

すみた産業まつり



トヨタグッズ
販売ブースを出展



地元ブースのお手伝い

今回、トヨタグループのボランティアに初めて参加しました。現地の方々と触れあい感じたことは、こちらが復興応援に行っているはずなのに、逆にたくさんの元気をもらえたという少しおかしな思いです。今までのトヨタグループの活動が着実に根付いているのを感じます。機会があればまた参加させていただきたいです。

制御電子システム開発部
永田 洋一さん



2015年

第2回

スペシャル オリンピックス日本

2015年
10月31日(土)~11月1日(日)
刈谷市総合運動公園ほか

東海・北信越ブロック 夏季ブロック大会 in 愛知

スペシャルオリンピックス(以下SO)日本・愛知の設立15周年記念事業として、刈谷市、名古屋市、豊田市のスポーツ施設で2日間にわたって同大会が開催され、知的障がいのある選手(アスリート)336名、ボランティア770名、コーチ、競技役員、ファミリー・応援団など総勢2,100名が9県から集まりました。当社からはボランティア団体として総合企画部の有志とご家族18名、およびトヨタインスティテュートの研修による新入社員21名が参加し、晴天の秋空のもと、サッカー競技の運営をお手伝いしました。

スペシャルオリンピックスとは

1968年、故ケネディ大統領の妹ユニス・シュライバーは、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的障がいのある人たちにスポーツを通じ社会参加を応援する「スペシャルオリンピックス」を設立。その後、全世界に活動が広がる中、日本では1994年にSO日本が設立されました。

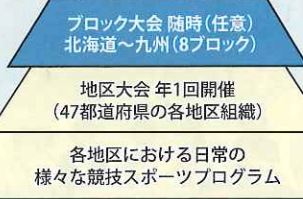
ブロック大会とは

大会の頂点に世界大会(4年に1度開催。2015年7月 ロサンゼルス大会)、その下に全国大会(世界大会の前年、4年に1度開催。来年2月に新潟で冬季全国大会が開催)、各地区大会(年1回開催)があります。ブロック大会は、地区組織の基盤づくりと交流を促進し、また選手が日ごろから積み重ねた努力の成果を発表する場として、不定期に開催されます。

ブロック大会の位置づけ

世界大会 4年に1度開催
2015年7月 夏季ロサンゼルス大会
2017年 冬季シュートミンク大会(オーストリア)

日本大会 4年に1度開催
2014年11月 夏季福岡大会
2016年2月 冬季新潟大会



活動前の説明を真剣に聞いています(総合企画部)



会場設営でテントの組み立て(新入社員)

ヨイシヨ!



チーム競技の運営サポートをする新入社員



個人競技のサポートをする新入社員



競技後、一緒にゲーム!(総合企画部)



8位まである表彰台 全員を表彰します

恒例の表彰式のシーン みんなで選手にバンザイ!



大会終了時にボランティアへ配られたサンキューカード



総合企画部のみなさん



新入社員21名で活動しました!

選手が一生懸命、笑顔でスポーツしている姿に元気をもらいました。出会いに感謝!

スポーツってスバラシイ!

総務・人事本部と調達本部の新人合同で、参加させていただきました。アスリートのみなさんの一生懸命な姿に感動を覚えるとともに、障がい者スポーツを身近に感じ、「自立を支援する」という障がい者支援の精神を学ぶことができました。

また、トヨタグループをはじめ他社様の積極的な様子からも刺激を受け、継続的なボランティア参加に対する意欲も芽生えたと思います。今後は、各人がより自発的に支援の意欲を持てる分野を自ら探し、幅広い社会貢献活動に参加できるような教育を続けていきたいと考えます。

トヨタインスティテュート
村木 亜由美さん



総合企画部 創部50周年企画の一環として、社会貢献活動を支援する目的で、ボランティアに参加して参りました。サッカー競技の運営をサポートし、最後はアスリートやスタッフの方々と一緒にボールを追いかけるなど、より身近に笑顔いっぱいでお話しすることができました。何より、アスリートの方たちも陽気な人ばかりで、本当に素直に楽しく1日を過ごすことができました!

このような社会課題に触れつつ、社会貢献につながる活動の輪を、これからも広げていきたいと思っています。

総合企画部
小笠原 久人さん



10月入社
事技系大卒
新入社員研修

豊田市立平和小学校

ボランティア

2015年10月21日(水)

豊田市立平和小学校

側溝からの土砂だし



「社会奉仕の精神を育む」「地域社会との関わり、期待の大きさについて理解を深める」「集団でひとつの活動に取り組むことで、チームワークを体感する」を目的に、新入社員18名が社会貢献活動体験研修を実施しました。

地域との関わりを持つことでトヨタ自動車が地域・社会に支えられていることを実感した1日となりました。地域との関わりを忘れずに、これからもどんどん活躍していきましょう!



まだまだ続く...



綺麗な土は
グラウンドに
戻します

頑張ったぞー!



最後に児童の
みなさんと握手



活動中に児童や保護者、教職員の方々から感謝の言葉をいただき、とても嬉しく感じました。人のためになることを行うことで、自分自身もとても嬉しい気持ちになることに気付きました。また、トヨタは地域から様々なことを期待されていると感じました。

新入社員
岩谷 享右さん



ALL TOYOTA Big Holiday “きてみて体験” ボランティアプラザ

2015年10月25日(日)
トヨタスポーツセンター

各社の社会貢献活動を紹介



クイズに
答えてね!



視覚障がい者の卓球体験

2019年ラグビー
ワールドカップ
に向けた
体験コーナー

ナイスタックル!

大人気の「あまちゃん」
撮影コーナーで
ハイポーズ!



防災コーナーでは、車椅子での
避難体験を初めて導入しました



この方も
宇宙から
応援に来ました



今年から始めたホウテ焼きは、
あっという間に完売
さんまの売上金とともに
東北復興へ寄付されます



中国出向を経験して気持ちに変化が出て、チャレンジしたいと思い消費生活アドバイザーや様々なボランティア活動への参加を始めました。



トヨタ自動車
古田 秀雄さん

時間があったので、何かしたいと思い、初めて参加しました。違う会社の人たちと一緒に活動するのは不安でしたが、打ちとけて楽しくできました。



豊田自動織機
工藤 真由美さん

初めてのボランティア活動でした。子どもたちが車椅子に触れたり、乗ったりする時の驚きや操作を楽しんでいる様子を見て、やってよかったと思いました。



アイシン精機
中馬 修一さん

名古屋フィルハーモニー交響楽団主催

2015年10月27日(火)
名古屋国際会議場 センチュリーホール



「夢いっぱいの特等席」福祉コンサート

名古屋公演
ボランティア

「音楽の喜び・楽しみを全ての人へ」との思いを込めて、障がいのある方々や乳幼児の親子など、コンサートへ行くことが難しい方々に、ホールでのオーケストラ演奏を楽しんでいただくための演奏会「夢いっぱいの特等席」福祉コンサートが開催されました。従業員ボランティア12名は、プログラムの配布や座席誘導などで運営をサポートするとともに、ご来場の皆様に喜んでもらえるよう、着ぐるみを着て元気よく踊り、会場を盛り上げました!



プログラム配布



団体受付



ゆっくり降りましょうね



こちらです

客席案内



着ぐるみで盛り上げ!



参加者のみなさん

初めてのボランティア参加でした。地域の皆様への恩返し活動の一助となればと思い、勇気を出して参加しました。客席へのご案内などを担当しましたが、「ありがとう」と声を掛けていただき嬉しかったです。「となりのトトロ」の演奏が始まると会場内が大合唱で、みなさんの笑顔がとても印象に残っています。またいろいろなボランティアに参加していきたいと思っています。

人事部
太田 淳一さん



トヨタロビーコンサート 20周年特別企画 トヨタ・ミュージアム・コンサート

ボランティア

2015年10月31日(土) トヨタ博物館

地域の皆様に気軽に良質な音楽を楽しんでいただくことを目的に、1995年より東京本社にて実施しているトヨタロビーコンサート。その20周年企画として、今回初めて本社地区で開催されました。近隣住民や福祉施設関係者をご招待し、人とクルマの豊かな未来への思いを込めて、クルマに縁のある楽曲や映画音楽などが披露されました。従業員ボランティア3名は、受付や来場者の方々にお持ちいただいた収集物の回収などをお手伝いしました。

プログラムです



収集物はこちらにいれてね



収集物を集計



こちら入場券になります

出演者のみなさん



塩入俊哉さん
(ピアノ)

奥村 愛さん
(ヴァイオリン)

橋 直己さん
(パーカッション)

トヨタロビーコンサートの節目の20周年特別企画が、トヨタ博物館で開催されるということで、音楽好きな私もぜひ参加したいと思い、ボランティアとして参加させていただきました。

ヴァイオリン、ピアノ、パーカッション、三者三様の個性が起こすケミストリーが、素敵な音の空間を作り上げ会場全体を心地よく包み込んでいました。近隣施設の方や来場者など多くの方々に音楽とクラシックカーを楽しんでいただくことができました。一緒に楽しみながら参加できて良かったです!

ユニット開発基盤デジタル改革部
加藤 晃さん



トヨタ白川郷自然学校 茅刈りボランティア

2015年10月31日(土)
トヨタ白川郷自然学校

世界遺産・白川郷の合掌家屋に使用する茅を刈り取るために、6月に草木の刈り取りなどで整備した茅場には、立派に茅が育っていました。

立った茅を刈り、刈った茅を立てて乾燥させ、茅葺屋根の葺き替えに使用する準備をしました。文化遺産・伝統文化の継承・保護を支援する一助となれば・・・と、参加した従業員ボランティア23名は楽しみながら活動しました。



まずは茅を刈り取ります



刈った茅を縄で縛ります



縛った茅を3本にまとめて立て、乾燥させます



だんだん綺麗になっていく茅場



みんなで頑張ったぞー!

同じ職場の人に誘われて参加しました。背の高い茅を刈るのは大変な作業で、雑草を取り除くのに苦労しましたが、作業前に活動の背景と目的の説明を受けたことで、とても楽しく活動できました。また参加したいです。

FC技術・開発部
渡辺 朝日佳さん
(右は夫の勝也さん)



ホルト祭り ものづくりボランティア

2015年11月1日(日)
名古屋文化キンダーホルト

4名参加

児童養護施設 名古屋文化キンダーホルト様が今年で創立30周年を迎えられました。2013年からトヨタブースを出展させていただき、今年初めてものづくりコーナーに挑戦しました。

間伐材を使った鉛筆立て、カード差し、ロボットなど、子どもたちが試行錯誤しながらオリジナルの作品を作り上げていました。

ボランティアは間伐材にドリルで穴を開けたり、大きな間伐材をのこぎりで小さく切り分け、製作しやすい環境を整えました。簡単な工具の扱い方を教えながら、子どもたちと交流を図りました。



子どもたちが作った
手作りのたれ幕

会社概要説明



ものづくり
コーナー
出展内容の説明



大きな間伐材をのこぎりで
小さく切り分け



子どもの
リクエストに応じて
ドリルで穴あけ



外国の大学生
ボランティアさんへ
作り方を伝授



幹の会

白山白川郷ホワイトロード 外来植物の除去ボランティア



幹の会「家族エコ活動」として、トヨタ白川郷自然学校のスタッフの協力のもと、幹の会会員とその家族総勢107名で、白山に生ずる高山植物に影響を与える、オオバコをはじめとする低地性外来植物の除去を行いました。

2015年9月26日(土)
白山白川郷ホワイトロード
白川郷展望台付近

トヨタ白川郷自然学校スタッフによる説明



PHVに乗って移動



根切りを使って
オオバコの除去

オオバコを
見分けながらの
除去作業



37kgの
オオバコを
除去することが
できました

トヨタ白川郷自然学校のスタッフから、「低地性外来植物であるオオバコの種子が、登山者の靴や衣服などに付着し、登山道に登って高山・亜高山域に侵入し、在来植物の生育に影響をおよぼしていること」、「土壌保全のためオオバコの地上部のみを、根切りという道具で切り取ること」などを学び、草むしりとは異なる意義を感じながら活動することができました。

資材・設備調達部
佐藤 豊さん



参加者のみなさん

第5回

豊田市スポーツデー ラグビー体験サポート

2015年10月10日(土)
スカイホール豊田



腕組みをして
立ち上がれるかな?

豊田市スポーツデーは、体験を通してスポーツに親んでもらおうと、毎年体育の日に開催されています。今回から新たに設けられたラグビー体験のコーナーに当社ラグビー部OBの8名がサポートボランティアとして参加しました。

パス、キック、タックル体験や実際の試合で行われるラインアウトのリフティング体験を行い、600名を超える子どもやお年寄りの方々にラグビーのおもしろさを体験していただくことができました。



ウォーミングアップ



初めて触る
ラグビーボールで
パス練習

第5回豊田市スポーツデー
主催：豊田市、豊田教育委員会 主幹：豊田市スポーツ実行委員会



イベント終了!
お疲れ様でした

ラグビーワールドカップ2015での日本代表の活躍により、ラグビー人気が高まっている中、『第5回豊田市スポーツデー』にトヨタラグビー部OB会のメンバー8名が参加させていただきました。当日は豊田市在住の幼稚園児からお年寄りの方までを対象にパス、キック、タックル、リフティング、タグラグビーを実施しました。

特に子どもたちはタックルに興味津々。何十回もチャレンジする子もいました。2019年には豊田市(豊田スタジアム)でもラグビーワールドカップが開催されます。今後もラグビー普及活動をヴェルブリッツ・OB会が一丸となって盛り上げていきたいです。

ラグビー部OB
総務部
山崎 弘樹さん



緊張...
タックルバッグに
初めてぶつかります



ラインアウト体験
ラグビー選手に
持ち上げられて
ナイスキャッチ

翔の会

小松原海岸 海浜清掃活動

2015年7月25日(土)
小松原海岸

台風の影響もあり、海岸には大量のゴミが打ち上げられていました。参加した従業員ボランティア51名は驚きながらも、きれいな海岸を守ろうと一生懸命ゴミ拾いをし、30分で20袋も回収しました!

活動後はウミガメの放流や、ピザ焼きや工作などを楽しみました。

ゴミがあっちにも
こっちにも



こんなに回収できたよ!



SX会
堤支部

ふれ愛ボランティア

2015年9月26日(土) 鞍ヶ池公園

サンホーム豊田の園生と 鞍ヶ池公園に遠足

障害者支援施設『サンホーム豊田』とのボランティア活動を年2回実施しています。春は施設の清掃活動と『ものづくり』を実施、今回は秋の活動として鞍ヶ池公園に『遠足』に出かけました。

SX会21名、施設利用者20名、職員6名の総勢47名で動物と触れあったり、ゲームを楽しんだりするなど公園を満喫し、笑顔いっぱいの遠足となりました。

参加者全員で記念撮影



動物とのふれあい



パターゴルフ大会



EX会
本社工場
支部

童子山小学校ボランティア

2015年10月3日(土)
童子山小学校

ボランティアとして33名が、遊具のペンキ塗りと床ブロックの汚れ落としを行いました。ペンキにまみれながら、ペンキ塗りと汚れ落としにも「トヨタの品質の拘り」をもって、丁寧にきれいに仕上げました。きれいになった遊具で、子どもたちが元気いっぱい遊んでくれるといいですね!

綺麗にするぞ!



みんな真剣です



参加者のみなさん

EX会
元町支部

名古屋文化キンダーホルト 清掃・ふれあいボランティア



2015年10月18日(日)
名古屋文化キンダーホルト

今年で2回目の活動となりました。EX会元町支部役員、職場会、大卒実習生の総勢44名が参加し、子どもたちとグラウンドの草刈り、側溝の泥出し、浴室清掃を行いました。ドッジボールやお弁当を一緒に食べるなどの交流も図り、子どもたちの笑顔があふれる活動となりました。

みんなて協力し合って草刈り



子どもとのふれあい



参加者のみなさん

下山工場

下山フェスタで「未来・夢のクルマ」模型を披露

2015年9月27日(日) 下山工場グランド

工場40周年企画として、地元南部小学校の協力のもと、模型制作を進めてきました。4月に5年生を対象に「未来・夢のクルマ」の絵の募集説明会を開催。5月に総数88点の中から、投票で1点を選出。6月に有志約20人で制作を開始しました。

長さ1.5mもの大きさとなる模型の制作は難航しましたが、7月に行った見学会で子どもたちが見せてくれた笑顔が力を与えてくれました。

お披露目の際には、絵の作者 ^{ゆたか} 木戸裕貴くんが表彰され、「選んでいただいて大変うれしいです。将来、ぼくもこんなクルマをつくりたいです」と元気に語ってくれました。

4月15日
南部小学校での説明会



制作風景

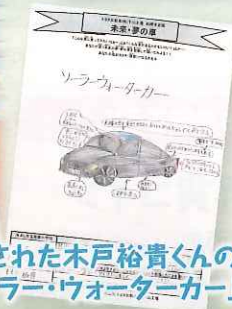
9月27日 下山フェスタでお披露目



表彰された木戸裕貴くんの作品
「ソーラー・ウォーターカー」



7月31日見学会



下山工場も地域の方々に支えられ、無事40周年を迎えることができました。

将来を担う子どもたちに、ものづくりの楽しさ、喜びを感じてもらうため、工場のもづくりと模型の制作過程の見学会を開催。その時の子どもたちの笑顔とありがとうの言葉が励みとなりました。

制作終盤では、こだわりを持ち過ぎて完成遅れの焦りもありましたが、無事、夢を形にすることができ、喜びで一杯です。

上郷工場・下山工場 工務部
吉岡 勲さん



三好工場

逢妻女川クリーン活動

三好工場の近隣地区である千足自治区をはじめ、逢妻女川流域の各自治区が共催する河川敷の清掃活動です。地域の方は草刈り、三好工場の参加者19名はごみや空き缶を拾いました。思いのほか、ごみは少なく、河川敷を利用される方の意識の高さを感じました。



ごみ、空き缶を拾っています

2015年9月12日(土)
逢妻女川流域河岸の一部(千足自治区内)



参加者のみなさん

小原学園「学園祭」

サポートボランティア

この活動の支援を始めてから、今年で10年目を迎えました。お祭りを盛り上げるため「たこ焼き」、「焼きうどん」などを調理し提供しました。生徒や先生からは、「私たちにも手伝わせて」とうれしい声をかけていただき、協同で調理し、特に昼食の時間は大盛況でした。午後もダンス観賞やビンゴゲームなどを一緒に楽しみ、充実した1日を過ごすことができました。

2015年11月7日(土) 小原学園

自慢の焼きうどん



はじめて出店したたこ焼き

職場単位でも気軽に社会貢献を!

全社収集ボランティア キャンペーン実施中!

みなさん一人ひとりの
ご理解とご協力が、
大きな支援の力に変わります

実施期間 2016年1月末まで

収集物を送って世界の子どもたちに笑顔届けよう!

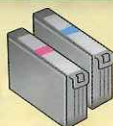
普段何気なく捨てているもの、身近にあるものの中に、社会で役立つものがあります。
みなさんの暖かい気持ちが世界の子どもたちの大きな力になります。ご協力お待ちしております!

収集物

ベルマーク・使用済みインクカートリッジを集めて、子どもたちに苗木を贈ろう!!



ベルマーク
100点で苗木1本分



家庭用インクジェットプリンター用
使用済み **インクカートリッジ**
20個で苗木1本分

EPSON Canon
EXCEED YOUR VISION
※インクカートリッジは上記ブランド
の純正品に限らせていただきます。



海外で進めている「子供の森」計画の
支援ができます!

「子供の森」計画とは、世界中の子どもたちによる、
学校単位の新しい森づくり運動です。子どもたち自身が、
学校の敷地や隣接地で苗木を植え、育てていく実施
活動を通じて、「自然を愛する心」「緑を大切にす
る気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこう
というプログラムです。

公益財団法人オイスカ(OISCA)

切手やコインを集めて、母と子の健康と命を守ろう!!



使用済み
切手

国内切手 1kg = 約 1,350円
海外切手 1kg = 約 6,000円

2,000円(使用済み切手 約1.5kg)で、1人
の女性が保健施設で助産師の立会いの
もと、安全に出産することができます。



外貨コイン

額面の約5割に換金

世界では、今なお1日に800人の女性が妊娠や
出産が原因で命を落としています。その99%が
開発途上国の女性です。妊産婦と女性の命と
健康を守る活動のための資金の一部として
活用させていただきます。



© MIKI Tokelin

国際協力NGOジョイセフ

ハガキを集めて子どもたちが
学校に通えるよう応援しよう!!



書き損じ

官製ハガキ
400枚 = 約 14,400円

経済的貧困のため教育の機会に恵まれない
ラオス、カンボジア、タイ、ベトナム、ミャンマーの
子ども1人を1年間学校に通えるようにすることが
できます(ダルニー奨学金)。



公益財団法人国際センター

本を集めてアジア・アフリカの子どもたちへ読書をする喜びを届けよう!!



本 本20冊 = 10冊プレゼント*



BOOK BATON PROJECT

読んであなたの本で社会貢献

本の送付につきましては、直接、
バリューボックスへご連絡をお願いします。

TEL: 0120-826-295

本の収集のみ、トヨタボランティアセンター
では受付しておりませんのでご注意ください。

*買い取り価格が
1冊50円の場合



写真提供: 特定非営利活動法人 ルーム・トゥ・リード

詳細は各自に配布されています「チラシ」をご覧ください。既に参加されて「チラシ」の無い方はご連絡ください。

内線: 811-3-3584 Mail: ac-v8686@mail.toyota.co.jp 社会貢献推進部 総括室 環境・社会活動G トヨタボランティアセンター森脇まで

トヨタ公式企業サイトにバックナンバーが掲載されております

(2011年5・6月合併号以降)。是非ご覧ください!【時間外閲覧】

http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/volunteer/opportunity/v_hello/index.html

はろーばらんていあ

チェック!



配布先、部数の変更がございましたら ☐ac-v8686@mail.toyota.co.jp までご連絡ください。

はろーばらんていあ
Harbor

2015年12月・
2016年1月合併号
NO.203

発行

本社: 社会貢献推進部 総括室 環境・社会活動G (トヨタボランティアセンター) ●住所: 〒471-8571 愛知県豊田市トヨタ町1番地
●電話: (内線) 811-3-3589 外線: 0565-23-3589 ●FAX: (内線) 811-3-5748 外線: 0565-23-5748 ●E-mail: ac-v8686@mail.toyota.co.jp
●HP: http://nt-wave.mx.toyota.co.jp/tmc/98/volunteercenter/SitePages/OP.aspx (各部 → 28 渉外・広報 → 社会貢献推進部 → ボランティアセンター → 活動のご案内)
●発行部署: 社会貢献推進部 総括室 環境・社会活動G ●発行人: 朽木英次 ●編集人: 大洞和彦 ●印刷: トヨタグループス(株)